

「祝卒業 夢の実現に向けて」



校長 大山 良一

草木が暖かさと共に新芽を大きくする春がやってきました。今年も本校で学んだ社会の新芽となる四十四名が卒業を迎えました。平成二十九年度卒業生の皆さん、卒業おめでとう。併せて、ご家族の皆様にも祝福と感謝を申しあげます。本校での三年間を振り返る時、脳裏に浮かぶのは何でしょうか。授業・行事・部活動・ボランティア・進路・資格取得など、それぞれの取り組みに満足いく達成感があったと思います。皆さんが取り組んだ実績は良き伝統として後輩達が必ず受け継いでくれます。

校歌の三番の歌詞「島山に湧く白雲の輝く理想高らかに 明日の使命をになひつつ 我らはばたき我ら行く 栄えはここに古仁屋

高校」にあるように希望・

使命・そして栄光を求め、自信を持つて社会へ羽ばたいて下さい。そして、これから出会う人たちの中には、皆さんの想像を超えるものを持つている人がたくさんいます。刺激を受け、考えを新たにすることも起こるでしょう。「新たな自分の姿」を描き、「その実現のために何をやるべきか？」を追い求めることで、皆さんの未来は大きく変わる可能性を秘めています。「できない理由を考える」のではなく、「できる方法を考える」。前進するためには、「行動に移す」。一步を踏み出すことを恐れないでください。

最後に、江戸幕末の教育者である吉田松陰の言葉を紹介します。「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」卒業生の皆さんが、高い志を持ち、夢の実現に向けて、充実した人生を送られることを期待しています。

卒業する君たちへ

三年主任 竹山 英輔

「普通科一組・・・以上男子二十名、女子二十四名、計四十四名。」徳満先生と入学式の呼名をしたのが、昨日のことのように思い出されます。三年間、全員の担任をしているつもりで君たちと接してきました。「新たなことに挑戦する学年」をモットーに、いろいろなことに取り組んできましたね。わくわくドキドキの一年生があつたという間に終わり、二年生からは向段先生も加わり、新たなスタートを切りました。マグロの餌やりや甲子園に行ったのも君たちの学年が初めてでした。そして、楽しい学校行事が君たちちとの思い出の終わりを告げることとなる三年生。楽しさ半分・寂しさ半分。行事ごとに成長していく君たちの姿に感動しました。古高で君たちと過ごせて良かったです。ありがとう。

奇跡の学年の君たちへ

三年一組主任 向段 由子

卒業おめでとうございます。みんなの顔が見られなくなる学校生活が来るなんて・・・とても寂しい気持ちでいっぱい

いです。卒業アルバムをめくると、合格発表の日から今まで成長して大人の顔に変わっていく皆さんの姿を目の当たりにして、大きくなったなあ、と母のような気持ちで見えていました。特に、三年生のこの一年は、自分のこれからの人生を一番真剣に考え、一人悶々と悩み、多くの先生や友達、そして、保護者の方に相談しながらも、自分で決断することを経験する場面でした。その一つ一つの過程が、君たちを大人に成長させたのだと思います。その、一瞬一瞬に立ち会えて本当にうれしく思っています。君たちの担任になれて良かった！心からそう思える二年間でした。ありがとうございました。また、会いましょう。さようなら。

未来と思い出

三年二組主任 徳満 成博

三十年後の日記を書いてみました。「東京での再会を約束した日が明後日に迫ります。鹿児島空港では四人が離陸を待ちます。大学病院で医療事務を担当する久田友樹。社会福祉士として奄美大島の福祉をけん引す

る中江好輝。理学療法士としてプロスポーツ選手のリハビリを担当する正野星也。国内最高峰のフィッシングトーナメントで優勝したばかりの岩井真一。飛行機が成田空港に到着するとグラウンドハンドリングで屋南希が出迎えてくれます。国際平和協力活動で海外派遣から帰国したばかりの山倉駿とは成田空港で合流です。再会の場所は都内の一流ホテル。IT関連会社の社長となっていた山畑海勝が招待してくれました。明日はホテルコンシェルジュとして働いている亀澤光に東京を案内してもらう予定です。宿泊するホテル最上階の料亭では田井旺次郎が料理長を務めます。明日の夕食には平瀬楽那が大島海峡で育てた近大マグロを調理してもらいます。明日も明後日も楽しみです。」一緒に過ごした生徒たちの夢を見られる私は幸せ者ですね。卒業おめでとう。

「古仁屋」を検索していた三年前。赴任してすぐの岩崎茜の家庭訪問では加計呂麻島にワクワクしながら

行ったのを思い出します。文化祭でのペットボトルのお城は今でも強烈な思い出です。岩木香月の静かなるリーダーシップに最後まで頼ることになりました。思春期から大人へと変わる過程を見せてもらったのが昇日菜子でした。自分の夢を笑顔で語り、積極的に行動する小林優奈を羨ましく思いました。嫌だと言いながらもちやんと行動できる山下紗羅の保育士としての活躍が楽しみです。いつもは控えめな宮山媛花が体育館でこぶしを突き上げる姿は印象的でした。好奇心旺盛で趣味も多彩な町田菜実喜は世界と奄美の懸け橋となると確信しています。最後の文化祭では生徒を信じるこの大切さを園田彩香に教わりました。時間厳守と凡事徹底ができる静岡碧海には自分を反省するきっかけをもらいました。進路決定までの過程で一番涙を流したのが富穂乃佳でした。ネットでの合格発表に泣いて喜ぶ渡邊穂に初心を思い出しました。大学受験を通して誰よりも自分と向き

合った田中里奈の頑張りは見事でした。何も知らない町でしたがみんなとの三年間で少しは分かるようになった気がします。たくさんのかことを教えてくれてありがとう。寂しさを込めて、卒業おめでとう。

一期一会

三年一組副担任 鳥丸 大輔

卒業おめでとう！

古仁屋高校に赴任した一年目に皆さんの学年と関わることが出来て、本当に良かったです。ありがとうございます。人生の中で一つの大きな区切りとなる「高校卒業」を迎えて、嬉しい気持ちや安心した気持ち等、様々な気持ちがあると思います。その中で「感謝」の気持ちを大切にしてください。自分の力だけではなく、様々な人と出会い、様々な関係を築いてきたからこそ、今日があるのだと思います。これから先の人生も決して一人で生きていく訳ではありません。出会いを繰り返して生きていきます。出会いを大切にしてください。そして、「過去」の自分を大切に、「未来」の自分に希

望を持ち、力一杯に「現在」を生きてください。

二期一会

みんなと出会えてよかった！
また必ずどこかで会おう！

いつも心に音楽を

三年二組副担任 鳩野 由佳

皆さんには想い出の曲がありますか。音楽というのは不思議なもので、曲を聴くとその時の感情や風景、温度や匂いが一瞬で蘇ってきます。この三年間で聴いた曲はいくつあるでしょう。嬉しい時、楽しい時、辛い時、苦しい時、たくさん曲と共に過ごしてきたと思います。きつとこれから生きていく中でふとした時にこれらの曲を聴くことがあるはずです。その時に、この三年間で感じたことや頑張ったこと、仲間と助け合ったこと、いろいろなことを思い出すのだと思います。これから進む新しい環境は未知で、希望の中にも不安があるかもしれません。そんな時は想い出の歌をうたって、三年間で大きく成長した自分を思い出してください。そして自信を持って一歩踏み出してください。

皆さんご卒業おめでとうございます。これからの輝く未来に向かって大きく羽ばたいていくことを心より祈っています。ありがとうございます。さようなら。

自分の力を信じて

三年二組副担任 堀脇 由貴

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。あつという間の三年間が過ぎ、いよいよ旅立ちの時ですね。これまでは、一人一人が夢を実現するための準備期間であり、本格的な勝負はこれからです。良い日もあれば、悪い日もあるでしょうが、最初から上手くやれる人はいません。失敗を恐れずに格好悪くても決して諦めず、投げ出さず、自分の力を信じて前へ突き進んでください。そして、今まで出会った人、これから出会う人を大切に、思いやりのある素敵な人になってください。心から応援しています。

シマの思い出とともに

三年生付 米倉 秀和

三年生の皆さんとは二年間一緒でした。学校生活では教科指導や生徒指導を通じてしか接しませんが、一歩学校を出て、生き生きと

している皆さんにシマの暮らしを教えてもらったことは最高の思い出です。透明なビーチでの海水浴、釣り、テラダ獲り、みなとまつり、ポンカン：そのほとんどを皆さんのうちの誰かと共に味わったり、教えてもらったりしました。たまにガセネタを掴まされる事もありましたが、もつともつといういろいろなことを皆さんとしたいところでしたが、残念ながらここでも一旦終わりますね。古仁屋を巣立つたら、これらのことが無性に懐かしく思われることでしょう。くれぐれもホームシックになることなく、想い出を力に変えて、社会の荒波を泳ぎ切ってください。その先に、一人一人のネリヤカナヤが待っています。



3 学年職員